

令和 8 年 度

市 議 会 要 覧



三 重 県 鳥 羽 市 議 会

目 次

市 の 概 要

I 市 勢

1. 市章	1
2. 位置・面積	1
3. 人口	1
4. 産業別就業人口	1
5. 職員数	1
6. 市制施行	1
7. 伊勢志摩国立公園	1
8. 鳥羽市民憲章	2
9. 姉妹都市提携	2
10. 友好都市提携	2
11. 友好交流協定	2
12. 宣言	2
13. 災害時相互応援協定締結	2
14. 市の象徴	3
15. 名誉市民	3
16. 人口	
(1) 年次別世帯・人口1世帯当たり人員の推移	4
(2) 外国人登録人口	4
(3) 地区別人口	5
(4) 年齢別・階層別人口	6
(5) 産業別就業人口	7
17. 鳥羽市行政機構図	8

II 財政状況（令和8年度当初予算）

1. 当初予算の規模	9
2. 歳入歳出予算	10
3. 財源内訳	11
4. 性質別予算	12
5. 議会費内訳	12

議会の概要

III 議会の構成

1. 議員名簿	13
2. 議員定数の変遷	14
3. 年齢別議員数	14
4. 当選回数別議員数	14

[illegible]

IV 視察来訪実績

[illegible]

V 議会改革の変遷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

VI 報酬・旅費等

[illegible]

VII 議会事務局

1. 議会事務局の機構と職員数	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	27
2. 事務分掌	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	27

VIII 本会議場フロア

1. 議場内配置図	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	28
2. 議会関係室配置図	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	28

資料編

Ⅸ 歴代正副議長	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	29
Ⅹ 鳥羽市の沿革（略年表）	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	31

I 市 勢

1. 市 章



昭和29年11月1日制定

躍進する鳥羽市の「ト羽」を図案化したもので  はト、 は羽、中央の丸は円満平和を象徴して、海洋観光都市の飛躍発展の姿を表している。

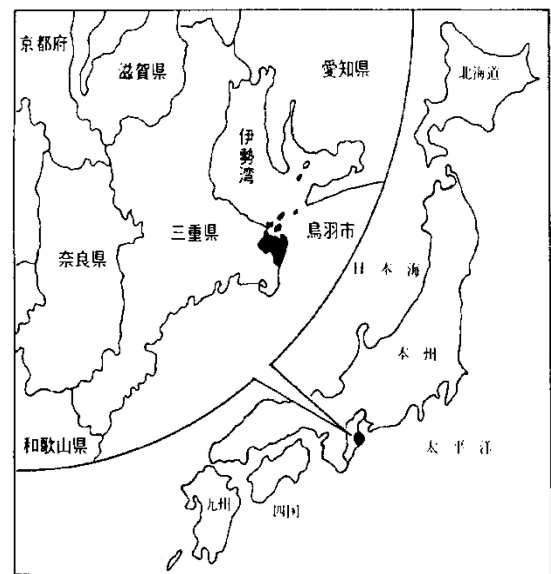
2. 位置・面積

鳥羽市は三重県の東端に位置し志摩半島北半分を市域として、四つの離島を擁し、北は波静かな伊勢湾を望み、東は太平洋、南を志摩市に、西は朝熊山系が連なり伊勢市に接する。海岸線は、美しいリアス海岸で沿岸漁業、海苔、ワカメ、カキ養殖など多様性に富んでいる。

温暖な気候・風土に恵まれ、住み良い条件を備え、令和7年は約424万人(内外国人観光客37,155人)の観光客が訪れている。

「面積」107.34km²

(位置 東経136° 50′ 北緯34° 28′)



3. 人口 15,863人(男7,484人・女8,379人・8,112世帯) 令和8年3月末日
住民基本台帳
17,525人(男8,255人・女9,270人・7,382世帯) 令和2年国勢調査

4. 産業別就業人口

(R2国勢調査)

産業別	就 業 人 口	構 成 率	市制施行時構成率
第1次産業	1,131人	12.7%	48.1%
第2次産業	1,445人	16.2%	21.6%
第3次産業	6,012人	67.4%	30.3%

5. 職員数

(令和8年4月1日現在)

区 分	市長部局	議会	選管	監査	教委	農委	水道	消防	計
定 数	385	6	2	2	88	2	26	50	561
実 数	233	3	1	2	20	1	11	47	318

6. 市制施行 昭和29年11月1日(1町7村が合併)

三重県志摩郡鳥羽町、加茂村、長岡村、鏡浦村、桃取村、答志村、菅島村、神島村が合併) 県内11番目の市

7. 伊勢志摩国立公園指定

昭和21年11月20日(2市8町55,550ha 鳥羽市8,739ha)

8. 鳥羽市民憲章

昭和43年11月1日制定

わたくしたちは、海の自然、山の自然に恵まれた美しい環境に育つ鳥羽の市民です。

わたくしたちの鳥羽市は、市民のたくましい不屈の精神によって築かれ、大きく発展しつつある希望のまちです。

わたくしたちは、鳥羽市民であることに誇りと責任をもち、おたがいのしあわせをねがい、よい市民となるために、市民憲章を定めて心のよりどころとしました。

愛する鳥羽が、住むひとに希望と勇気をあたえ、訪れるひとの心のふるさととなるように、みんなで力を合わせ、手を取りあってすすみたいものです。

すすんで、美しい自然と心を育て、

清潔な明るいまちをつくりましょう。

すすんで、きまりやよい風習を守り、

愛情ゆたかな家庭をきずきましょう。

すすんで、健康に心がけ、働くことに

誇りをもつ誠実なひとになりましょう。

すすんで、未来をつくる子らの教育を

のばし、清新な文化を育てましょう。

すすんで、広い視野に立ち、世界に

平和と友愛のはしをかけましょう。

9. 姉妹都市提携 昭和41年 3月24日 サンタバーバラ市(米カリフォルニア州)

10. 友好都市提携 平成23年 7月 1日 兵庫県三田市

11. 友好交流協定 平成28年10月13日 愛知県田原市議会

12. 宣 言	交通安全都市宣言	昭和37年3月15日
	衛生都市宣言	昭和39年3月25日
	非核平和都市宣言	昭和61年6月20日
	人権尊重都市宣言	平成 5年6月18日
	津波だ！みんな逃げよう宣言	平成23年 6月27日
	海女さん全力応援宣言	平成29年10月 2日

13. 災害時相互応援協定締結

岐阜県美濃市	平成23年10月17日
長野県大町市	平成24年7月4日
長野県飯島町	平成24年11月6日
兵庫県三田市	平成25年1月18日

14. 市の象徴

鳥羽市では、市民憲章の趣旨に基づいて、「市の鳥」「市の花」「市の木」が昭和44年11月1日に制定されました。

この市の象徴は、同年5月に市民に公募され、応募数鳥10点、花19点、木15点をもとに、市の象徴制定委員会（委員数12名）で審議されました。委員会では、「鳥羽市が海洋都市であること、市の独自性があらわれていること、市民に親しまれていること」基準をもうけ、6月30日、鳥に「かもめ」、花に「はまなでしこ」、木に「やまとたちばな」を選定することを決定しました。9月20日から開催された第3回定例市議会で承認されました。

「市の花」



はまなでしこ

「市の木」



やまとたちばな

「市の鳥」



かもめ

15. 名誉市民

○ 御木本幸吉翁（昭和42年11月1日 初代名誉市民に推挙）

安政5年、鳥羽に生まれる。家は代々「阿波幸」の屋号で、うどん屋を家業としていた。明治14年、鳥羽士族の娘うめと結婚。この良き内助の妻を得たおかげで、幸吉は心おきなく自分の理想を追うことができた。明治23年、内国勸業博覧会に生きた真珠貝を出品して人々を驚かせたが、その時、東京帝大の箕作博士から真珠養殖の示唆を得、真珠養殖の研究に入った。失敗と苦難の連続の末、明治26年相島（真珠島）で、半円の養殖真珠を取り出すことに成功した。幸吉35歳、うめ29歳であった。その後、工夫と改良を重ね遂に明治38年、真円真珠が完成した。その生涯も真珠一途に捧げ、天然真珠をしのぐ品質の養殖真珠を発明し、世界の真珠王として名声をあげ、ミキモトの名は真珠の代名詞となった。郷土にとっても、鳥羽の名を世界に有名にし、また、産業、観光の面で御木本幸吉の力に負うところは大きく、初代の鳥羽市名誉市民である。昭和29年没、96歳。正四位、勲一等に叙せられる。

○ 中村幸吉氏（昭和43年2月24日 名誉市民に推挙）

明治27年答志町に生まれる。父の中村与助は、明治36年から44年まで二期県会議員を務めた。幸吉は昭和14年から昭和22年まで県会議員を務め、昭和29年に鳥羽市誕生とともに初代市長に当選、昭和41年11月まで三期にわたって就任、合併当初の財源の調達、漁港の整備、道路の開通、離島間の航路の買収と経営などで財政規模の小さい鳥羽市では苦労の発足であった。加えて昭和34年、伊勢湾台風で大被害を受け、特に学校は6校がほぼ全壊に近く、大きな打撃となったが、中央との交渉が功を奏し、高率の国庫補助を得て、7校が鉄筋校舎となって再建された。次いで環境衛生に意を用い、全市の水道化の推進、漁業振興のための投石漁礁、育てる漁業育成のための水産研究所の設置、農業振興として農業の多角経営の推進と指導、観光地としての整備など多くの業績をあげ、鳥羽市発展の基礎をつくった名市長として聞こえ高い。将来の見通しをたてた大きな構想をもち、パールロード、佐田浜海岸の整備、加茂干拓などはそのまま次代谷本莊司市長に引き継がれ、今日の発展をもたらしている。

○ 小田嶋修三氏（昭和43年10月7日 名誉市民に推挙）

岩手県北上市に生まれる。大正6年、鈴木商店に入社し、鳥羽に赴任。帝国造船鳥羽造船所に電気部を創立して、電動機の製造を開始する。のち神戸製鋼所鳥羽工場長を経て、同常務取締役、神鋼電機顧問等を歴任した。この間、特許13、実用新案41の発明考案を行い、電気事業に尽した功により、藍綬褒章、勲四等旭日小綬章を受けた。鳥羽商工会議所初代会頭。昭和43年没、80歳。

16. 人 口

(1) 年次別世帯・人口1世帯当たり人員の推移（各年10月1日現在）

（単位：人）

年 次	世 帯 数	人 口			一世帯当たりの 人 員
		総 数	男	女	
大 正 14年	4,598	23,891	12,319	11,572	5.20
昭 和 5年	4,417	23,632	11,951	11,681	5.35
10年	4,565	24,205	12,067	12,138	5.30
15年	4,553	24,488	12,296	12,192	5.38
22年	5,823	28,931	13,739	15,192	4.97
25年	5,651	30,222	14,708	15,514	5.35
30年	5,761	30,121	14,609	15,512	5.23
35年	6,007	30,521	14,688	15,833	5.08
40年	6,297	30,098	14,365	15,733	4.78
45年	6,603	29,462	14,156	15,306	4.46
50年	7,011	29,346	14,149	15,197	4.19
55年	7,683	28,812	13,915	14,897	3.75
60年	7,865	28,363	13,636	14,727	3.61
平 成 2年	7,961	27,320	13,038	14,282	3.43
7年	8,566	26,806	12,753	14,053	3.13
12年	8,413	24,945	11,783	13,162	2.97
17年	8,167	23,067	10,855	12,212	2.82
22年	8,057	21,435	10,086	11,349	2.61
27年	7,730	19,448	9,082	10,366	2.44
令 和 2年	7,382	17,525	8,255	9,270	2.30

資料：国勢調査

(2) 外国人登録人口（各年3月末日現在）

（単位：人）

年 次	人 口			世帯数
	総数	男	女	
平 成 21年	275	40	235	210
22年	244	40	204	233
23年	214	39	175	198
24年	218	44	174	193
25年	184	32	152	171
26年	106	26	80	96
27年	102	29	73	92
28年	110	33	77	101
29年	126	37	89	116
30年	221	44	177	211
令 和 1年	216	45	171	209
2年	303	62	241	289
3年	274	81	193	254
4年	249	92	157	225
5年	334	139	195	300
6年	456	182	274	412
7年	517	217	300	468
8年	641	263	378	572

資料：市民課

(3) 地区別人口（各年10月末日現在）

（単位：人）

地 区		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
		世帯数	人口総数	世帯数	人口総数	世帯数	人口総数	世帯数	人口総数
鳥羽地区	鳥羽一丁目	225	396	229	392	229	384	243	399
	鳥羽二丁目	218	330	213	319	209	308	208	307
	鳥羽三丁目	215	398	211	385	207	378	196	353
	鳥羽四丁目	192	369	187	355	182	339	180	334
	鳥羽五丁目	126	242	130	244	134	252	142	258
	小浜町	399	753	429	780	404	733	423	737
	堅神町	197	454	198	448	196	448	194	433
	池上町	440	913	430	888	420	854	417	843
	屋内町	162	336	158	330	155	324	153	315
	鳥羽地区計	2,174	4,191	2,185	4,141	2,136	4,020	2,156	3,979
加茂地区	安楽島町	1,405	2,961	1,435	2,950	1,477	2,957	1,496	2,924
	高丘町	248	575	242	548	243	541	243	533
	大明東町	269	498	271	498	267	480	276	478
	大明西町	257	504	248	482	249	474	251	465
	幸丘	144	332	139	325	139	312	138	310
	船津町	266	548	257	527	246	503	244	484
	若杉町	99	209	94	197	99	200	96	193
	岩倉町	288	623	284	610	271	576	269	565
	河内町	152	303	151	291	146	282	143	270
	松尾町	306	733	296	709	297	703	291	677
	白木町	72	173	69	166	66	155	63	149
	加茂地区計	3,506	7,459	3,486	7,303	3,500	7,183	3,510	7,048
長岡地区	相差町	459	1,117	460	1,091	475	1,066	480	1,042
	国崎町	112	248	115	245	111	231	110	224
	畔蛸町	78	196	77	191	81	187	84	185
	千賀町	25	56	23	54	23	54	22	53
	堅子町	22	44	20	40	20	40	20	39
	長岡地区計	696	1,661	695	1,621	710	1,578	716	1,543
鏡浦地区	石鏡町	221	378	217	361	207	344	202	333
	浦村町	360	714	357	685	374	674	375	657
	浦村町（今浦）	116	236	117	232	117	227		
	浦村町（本浦）	244	478	240	453	257	447		
	鏡浦地区計	581	1,092	574	1,046	581	1,018	577	990
離島地区	桃取町	247	506	240	489	231	476	219	446
	答志町	502	1,305	490	1,255	477	1,201	465	1,156
	答志町（答志）	342	951	331	913	327	883		
	答志町（和具）	160	354	159	342	150	318		
	菅島町	211	486	212	463	207	444	207	432
	神島町	146	302	143	289	138	274	133	261
	坂手町	189	274	181	258	170	238	160	225
	離島地区計	1,295	2,873	1,266	2,754	1,223	2,633	1,184	2,520
総計		8,252	17,276	8,206	16,865	8,150	16,432	8,143	16,080

資料：住民基本台帳

※令和7年8月12日から住民基本台帳制度が標準化されたことにより、様式を変更。

(4) 年齢別・階層別人口（各年10月末日現在）

（単位：人）

年齢（歳）	令和4年			令和5年			令和6年			令和7年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	17,276	8,171	9,105	16,865	7,987	8,878	16,432	7,757	8,675	16,080	7,579	8,501
0 ～ 4	385	213	172	338	186	152	310	155	155	272	139	133
5 ～ 9	504	264	240	475	253	222	466	257	209	446	241	205
10 ～ 14	555	312	243	551	302	249	518	280	238	504	262	242
15 ～ 19	697	361	336	661	341	320	622	333	289	609	327	282
20 ～ 24	746	375	371	768	383	385	754	373	381	736	354	382
25 ～ 29	643	338	305	620	318	302	623	318	305	635	311	324
30 ～ 34	621	323	298	585	311	274	548	283	265	563	286	277
35 ～ 39	706	364	342	701	373	328	653	347	306	620	336	284
40 ～ 44	798	408	390	778	392	386	776	384	392	762	380	382
45 ～ 49	991	476	515	925	461	464	882	461	421	839	436	403
50 ～ 54	1,076	520	556	1,070	517	553	1,022	479	543	969	462	507
55 ～ 59	1,221	588	633	1,166	553	613	1,137	541	596	1,079	506	573
60 ～ 64	1,376	692	684	1,327	664	663	1,322	658	664	1,318	661	657
65 ～ 69	1,513	716	797	1,481	704	777	1,394	661	733	1,336	622	714
70 ～ 74	1,755	857	898	1,625	783	842	1,607	765	842	1,500	724	776
75 ～ 79	1,177	519	658	1,307	596	711	1,357	638	719	1,526	715	811
80 ～ 84	1,054	412	642	1,049	412	637	1,042	387	655	977	382	595
85 ～ 89	828	271	557	803	269	534	776	277	499	756	268	488
90歳以上	630	162	468	635	169	466	623	160	463	633	167	466
（再掲）												
0 ～ 14	1,444	789	655	1,364	741	623	1,294	692	602	1,222	642	580
15 ～ 64	8,875	4,445	4,430	8,601	4,313	4,288	8,339	4,177	4,162	8,130	4,059	4,071
65 ～	6,957	2,937	4,020	6,900	2,933	3,967	6,799	2,888	3,911	6,728	2,878	3,850
割合（％）												
15歳未満	8.4	9.7	7.2	8.1	9.3	7.0	7.9	8.9	6.9	7.6	8.5	6.8
15 ～ 64	51.4	54.4	48.7	51.0	54.0	48.3	50.7	53.8	48.0	50.6	53.6	47.9
65歳以上	40.3	35.9	44.2	40.9	36.7	44.7	41.4	37.2	45.1	41.8	38.0	45.3

資料：住民基本台帳

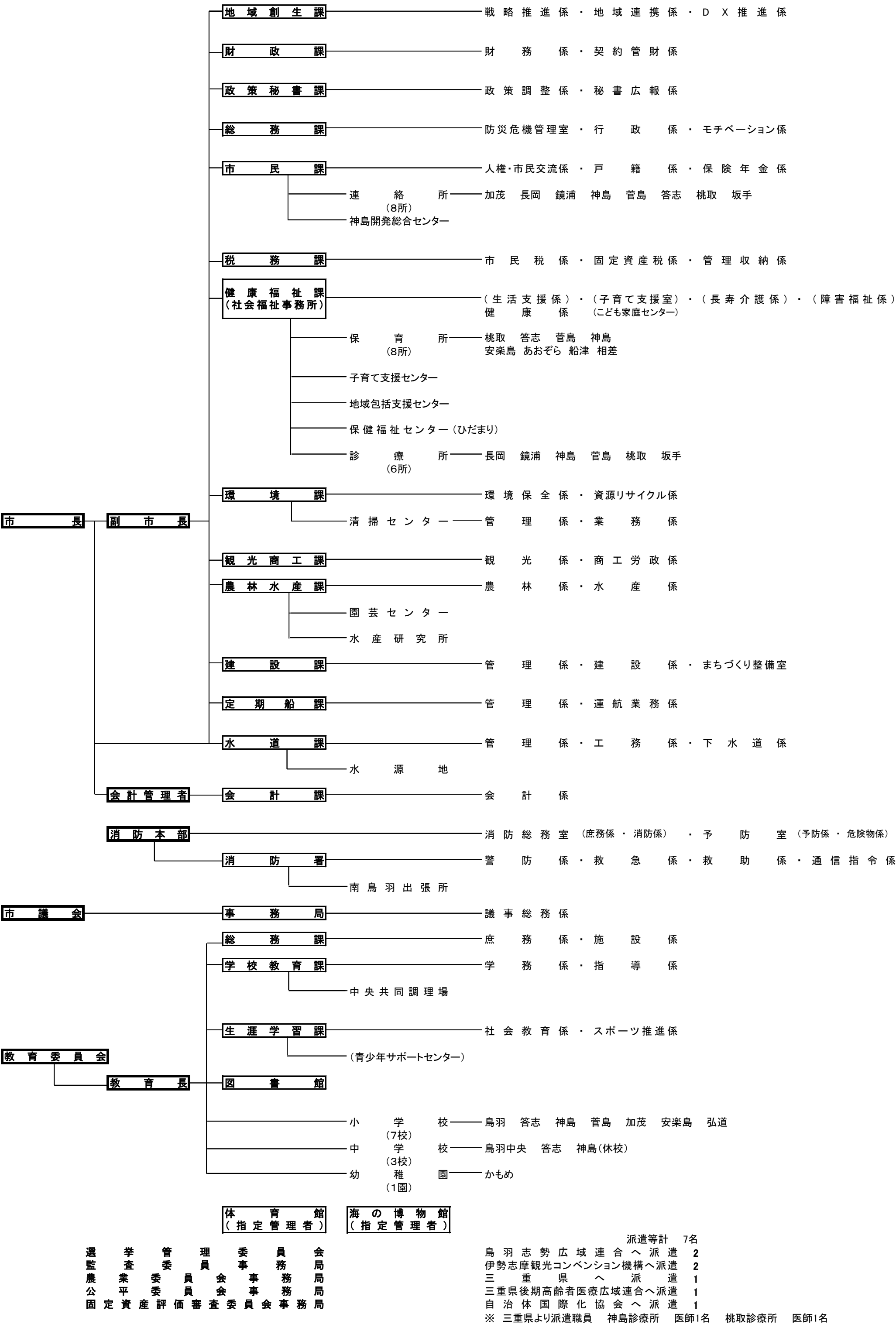
(5) 産業別就業人口（各年10月1日現在）

（単位：人）

区 分		平成27年			令和2年		
		総数	男	女	総数	男	女
総 数		9,953	5,146	4,807	8,920	4,603	4,317
第一次産業	農 業	141	89	52	116	77	39
	林 業	4	3	1	3	3	0
	漁 業	1,285	729	556	1,012	600	412
	計	1,430	821	609	1,131	680	451
	比 率（％）	14.4%	16.0%	12.7%	12.7%	14.8%	10.4%
第二次産業	鉱 業	14	14	0	14	12	2
	建 設 業	571	490	81	471	405	66
	製 造 業	1,106	691	415	960	609	351
	計	1,691	1,195	496	1,445	1,026	419
	比 率（％）	17.0%	23.2%	10.3%	16.2%	22.3%	9.7%
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	20	16	4	27	18	9
	情 報 通 信 業	29	17	12	30	16	14
	運 輸 業	377	325	52	327	282	45
	卸 売 ・ 小 売 業	1,316	526	790	1,136	463	673
	金 融 ・ 保 険 業	94	29	65	81	22	59
	不 動 産 業	81	55	26	63	39	24
	飲 食 店 ・ 宿 泊 業	2,026	815	1,211	1,866	776	1,090
	医 療 ・ 福 祉	779	181	598	780	182	598
	教 育 ・ 学 習 支 援 業	360	159	201	320	136	184
	複 合 サ ー ビ ス 事 業	168	99	69	141	83	58
	サービス業(他に分類されないもの)	920	501	419	889	485	404
	公務(他に分類されないもの)	375	268	107	352	246	106
	計	6,545	2,991	3,554	6,012	2,748	3,264
	比率(%)	65.8%	58.1%	73.9%	67.4%	59.7%	75.6%
分 類 不 能 の 産 業		287	139	148	332	149	183
比率(%)		2.9%	2.7%	3.1%	3.7%	3.2%	4.2%

資料：国勢調査

17. 鳥羽市行政機構図（令和8年4月1日現在）



Ⅱ 財政状況（令和８年度当初予算）

１．当初予算の規模

（単位：千円・％）

会 計		令和８度	令和７年度 (６月補正後)	伸 率
一 般 会 計		14,800,000	14,007,000	5.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	2,640,000	2,690,000	△ 1.9
	介 護 保 険 事 業	2,863,000	2,843,000	0.7
	定 期 航 路 事 業	777,000	665,000	16.8
	後 期 高 齢 者 医 療	659,000	624,000	5.6
	小 計	6,939,000	6,822,000	1.7
企 業 会 計	水 道 事 業	1,943,200	2,001,105	△ 2.9
	下 水 道 事 業	198,800	208,400	△ 4.6
	小 計	2,142,000	2,209,505	△ 3.1
合 計		23,881,000	23,038,505	3.7

令和８年度予算の規模は、一般会計、特別会計及び企業会計で総額２３億８，１００万円となり、前年度（※）と比べ８億４，２４９万５千円（３．７％）の増となっています。

一般会計では、前年度より７億９，３００万円（５．７％）増の１４８億円となっています。

また、特別会計では、前年度より１億１，７００万円（１．７％）増の総額６９億３，９００万円となり、企業会計では、前年度より６，７５０万５千円（３．１％）減の２１億４，２００万円となっています。

※令和７年度予算は骨格予算として編成したため、前年度比較は６月補正（第２号）後の予算と比較しています。

2. 歳入歳出予算

(単位：千円・%)

歳 入			歳 出		
款	予 算 額	構成比	款	予 算 額	構成比
1 市 税	3,066,906	20.7	1 議 会 費	128,625	0.9
2 地 方 譲 与 税	65,000	0.4	2 総 務 費	3,942,784	26.6
3 利子割交付金	3,000	0.0	3 民 生 費	4,052,263	27.4
4 配当割交付金	16,000	0.1	4 衛 生 費	1,425,265	9.6
5 株 式 等 譲 渡 所得割交付金	25,000	0.2	5 農林水産業費	307,807	2.1
6 法 人 事 業 税 金 交 付 金	67,000	0.5	6 観 光 商 工 費	523,415	3.5
7 地 方 消 費 税 金 交 付 金	520,000	3.5	7 土 木 費	998,671	6.7
8 環 境 性 能 割 金 交 付 金	1,500	0.0	8 消 防 費	729,002	4.9
9 地 方 特 例 金 交 付 金	22,400	0.2	9 教 育 費	1,218,062	8.2
10 地 方 交 付 税	3,870,000	26.1	10 災 害 復 旧 費	19,800	0.1
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	700	0.0	11 公 債 費	1,206,306	8.2
12 分 担 金 及 び 負 担 金	22,669	0.2	12 諸 支 出 金	238,000	1.6
13 使 用 料 及 び 手 数 料	251,630	1.7	13 予 備 費	10,000	0.1
14 国 庫 支 出 金	1,408,740	9.5			
15 県 支 出 金	757,984	5.1			
16 財 産 収 入	61,946	0.4			
17 寄 附 金	1,201,300	8.1			
18 繰 入 金	2,187,911	14.8			
19 繰 越 金	130,000	0.9			
20 諸 収 入	131,514	0.9			
21 市 債	988,800	6.7			
歳 入 合 計	14,800,000	100.0	歳 出 合 計	14,800,000	100.0

3. 財源内訳

(単位：千円・%)

款			当 初 予 算	備 考
自 主 財 源	1	市税	3,066,906	市民税 838,779 固定資産税 1,512,815 軽自動車税 65,367 市たばこ税 129,566 入湯税 161,550 都市計画税 107,266 宿泊税 250,983 旧法による税 580
	12	分担金及び負担金	22,669	
	13	使用料及び手数料	251,630	使用料 217,391 手数料 34,239
	16	財産収入	61,946	財産運用収入 50,774 財産売払収入 11,172
	17	寄附金	1,201,300	
	18	繰入金	2,187,911	
	19	繰越金	130,000	
	20	諸収入	131,514	延滞金加算金及び過料 5,000 市預金利子 1,864 貸付金元利収入 1,001 雑入 123,649
	計		7,053,876	47.7
依 存 財 源	2	地方譲与税	65,000	地方揮発油譲与税 12,000 自動車重量譲与税 43,000 森林環境譲与税 10,000
	3	利子割交付金	3,000	
	4	配当割交付金	16,000	
	5	株式等譲渡所得割交付金	25,000	
	6	法人事業税交付金	67,000	
	7	地方消費税交付金	520,000	
	8	環境性能割交付金	1,500	
	9	地方特例交付金	22,400	
	10	地方交付税	3,870,000	
	11	交通安全対策特別交付金	700	
	14	国庫支出金	1,408,740	国庫負担金 886,754 国庫補助金 513,753 委託金 8,233
	15	県支出金	757,984	県負担金 411,664 県補助金 308,897 委託金 37,423
21	市債	988,800		
合計	計		7,746,124	52.3
			14,800,000	100.0

4. 性質別予算

(単位：千円)

科 目	金 額
1 人 件 費	2,961,967
2 扶 助 費	1,612,191
3 公 債 費	1,206,306
4 物 件 費	2,782,939
5 維 持 補 修 費	85,551
6 補 助 費 等	1,897,276
7 積 立 金	1,588,983
8 投 資 及 び 金	0
9 貸 付 金	10,000
10 繰 出 金	1,272,364
11 普 通 建 設 費	1,352,623
12 災 害 復 旧 費	19,800
13 予 備 費	10,000
合 計	14,800,000

5. 議会費内訳

(単位：千円)

科 目	当 初 予 算 額	
	8 年 度	7 年 度
1 報 酬	56,631	56,323
2 給 料	13,274	12,827
3 職 員 手 当 等	26,052	25,096
4 共 済 費	19,373	17,992
7 報 償 費	140	190
8 旅 費	2,822	3,201
9 交 際 費	150	150
10 需 用 費	2,428	2,372
11 役 務 費	103	63
12 委 託 料	4,307	2,517
13 使 用 料 及 び 借 料	264	344
17 備 品 購 入 費	50	50
18 負担金補助及び 交 付 金	2,998	2,553
26 公 課 費	33	0
合 計	128,625	123,678

Ⅲ 議会の構成

1. 議員名簿（令和8年5月15日現在）

議長 河村 孝（令和7年5月15日就任）

副議長 南川 則之（令和7年5月15日就任）

監査委員 瀬崎 伸一（令和7年5月15日就任）

任期：令和7年5月15日～令和9年4月30日

議員定数：条例定数13名・現員数13名

鳥羽市議会議員名簿

◎委員長○副委員長

議席	氏名	住所	年齢	党派	当選回数	職業	常任委員会	備考
1	くらたまさよし 倉田正義	船津町	64	無所属	1	無職	行政 予算決算	議会改革 広報広聴
2	いがらし 五十嵐ちひろ	答志町	37	無所属	1	観光ガイド	行政 予算決算	議会改革 広報広聴
3	せこまさひと 世古雅人	相差町	64	無所属	1	無職	行政 ○予算決算	議運 ◎議会改革 広報広聴
4	やまもとよしひさ 山本欽久	神島町	50	無所属	1	旅館業	○行政 予算決算	議運 議会改革 ◎広報広聴
5	せさきしんいち 瀬崎伸一	畔蛸町	50	無所属	2	介護業	行政 予算決算	監査委員 ○議会改革
6	みなみがわのりゆき 南川則之	白木町	68	無所属	2	無職	行政 予算決算	副議長 議会改革 広報広聴
7	はまぐちまさひさ 濱口正久	答志町	57	自由民主党	2	飲食業	◎行政 予算決算	議運 議会改革 ○広報広聴
8	かわむらたかし 河村孝	大明西町	55	自由民主党	3	無職		議長 広報広聴
9	とがみけん 戸上健	安楽島町	80	日本共産党	4	「鳥羽民報」 編集長	行政 予算決算	議会改革
10	きのしたじゅんいち 木下順一	浦村町	65	無所属	4	会社員	行政 ◎予算決算	議運 議会改革
11	さかくらひろこ 坂倉広子	船津町	63	公明党	5	無職	行政 予算決算	○議運 議会改革
12	おざきみき 尾崎幹	安楽島町	64	無所属	5	コンサル 顧問業	行政 予算決算	議会改革
13	せこやすひで 世古安秀	国崎町	74	無所属	6	旅館業	行政 予算決算	◎議運 議会改革

2. 議員定数の変遷

条例定数（地自第91条第1項）	13人
125人 昭和29年11月 1日	可決
30人 昭和30年 3月19日	可決（昭和30年一般選挙から適用）
28人 昭和54年 2月10日	可決（昭和54年一般選挙から適用）
26人 昭和57年 3月24日	可決（昭和58年一般選挙から適用）
24人 昭和60年 9月24日	可決（昭和62年一般選挙から適用）
22人 平成 2年 9月20日	可決（平成 3年一般選挙から適用）
19人 平成 6年 9月21日	可決（平成 7年一般選挙から適用）
16人 平成15年12月22日	可決（平成19年一般選挙から適用）
14人 平成23年 3月 9日	可決（平成23年一般選挙から適用）
13人 令和 4年 6月27日	可決（令和 5年一般選挙から適用）

3. 年齢別議員数（令和8年5月15日現在）（単位：人）

年 齢	1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	計
35～39	1						1
40～44							0
45～49							0
50～54	1	1					2
55～59		1	1				2
60～64	2				2		4
65～69		1		1			2
70～74						1	1
75～79							0
80～84				1			1
合 計	4	3	1	2	2	1	13

4. 当選回数別議員数（令和8年5月15日現在）（単位：人）

当選回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	計
議員数	4	3	1	2	2	1	13

5. 党派別委員会所属数（令和8年5月15日現在）（単位：人）

区 分	定数	現員数	党派別			
			自由 民主党	公明党	日本 共産党	無所属
行政常任委員会	12	12	1	1	1	9
予算決算常任委員会	12	12	1	1	1	9
議会運営委員会	6	6	1	1		4
広報広聴委員会	7	7	2			5

6. 委員会名簿（令和8年5月15日現在）

◎委員長 ○副委員長

行政常任委員会（12人）			
◎濱口正久	世古雅人	木下順一	
○山本欽久	瀬崎伸一	坂倉広子	
倉田正義	南川則之	尾崎幹	（オブザーバー）
五十嵐ちひろ	戸上健	世古安秀	議長
予算決算常任委員会（12人）			
◎木下順一	山本欽久	戸上健	
○世古雅人	瀬崎伸一	坂倉広子	
倉田正義	南川則之	尾崎幹	（オブザーバー）
五十嵐ちひろ	濱口正久	世古安秀	議長

議会運営委員会（6人）

◎世古安秀	世古雅人	濱口正久	（オブザーバー）
○坂倉広子	山本欽久	木下順一	正副議長

広報広聴委員会（7人）

◎山本欽久	倉田正義	世古雅人	
○濱口正久	五十嵐ちひろ	南川則之	及び議長

議会改革推進特別委員会（12人）

◎世古雅人	山本欽久	木下順一	
○瀬崎伸一	南川則之	坂倉広子	
倉田正義	濱口正久	尾崎幹	（オブザーバー）
五十嵐ちひろ	戸上健	世古安秀	議長

7. 各委員会の構成

委員会名	所管事項
行政常任委員会	企画財政課、総務課、市民課、税務課、健康福祉課、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員事務局、議会事務局、教育委員会、環境課、農林水産課、観光商工課、農業委員会、建設課、定期船課、水道課に関すること
予算決算常任委員会	予算及び決算に関すること
議会運営委員会	議会の運営に関すること、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること、議長の諮問に関すること
広報広聴委員会	議会の広報及び広聴に関すること
議会改革推進特別委員会	議会改革に関すること

8. 一般質問・質疑者数（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

区 分	一 般 質 問		質 疑	
	人 数	件 数	人 数	件 数
令和7年5月1日～ 令和8年4月30日	35	66	4	5

9. 議会開催状況（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

区分	会期	本会議 (日)	会議時間	上程件数
通 年 会 期	令和7年5月15日	1	0:50	5
	6月5日～6月23日	5	10:08	27
	8月27日～9月24日	5	8:49	25
	10月22日	1	0:12	1
	11月26日～12月15日	5	9:47	17
	12月22日	1	1:04	10
	令和8年1月19日	1	0:17	2
	2月25日～3月31日	6	9:48	37
合計	通年会期365日間	25	40:55	124

10. 常任委員会開催状況（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

区分	通年会期（日）	会議時間
行政常任委員会	7	13:14
予算決算常任委員会	18	68:25
合計	25	81:39

11. 特別委員会開催状況（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

区分	通年会期（日）	会議時間
議会改革推進特別委員会	1	0:36

12. 提出議案

区 分	通年会期（令和 7 年 5 月 1 日～令和 8 年 4 月 30 日）								合 計
	5/15	6/5～6/23	8/27～9/24	10/22	11/26～12/15	12/22	1/19	2/25～3/31	
条 例		3	7		8	3	1	16	38
予 算		2	4	1	8	7	1	13	36
決 算			3						3
契 約									
財産取得・処分		2							2
負 担 付 寄 付									
権 利 放 棄									
訴 訟									
損 害 賠 償									
議 会 権 限									
専決処分・その他	1	14	3		1			8	27
請 願		1	1						2
選 挙	3								3
選 任	1	1	1						3
報 告		2	5						7
意 見 書		2	1						3
決 議									
合 計	5	27	25	1	17	10	2	37	124

13. 議決結果

区 分	通年会期（令和 7 年 5 月 1 日～令和 8 年 4 月 30 日）								合 計
	5/15	6/5～6/23	8/27～9/24	10/22	11/26～12/15	12/22	1/19	2/25～3/31	
原 案 可 決	1	11	13	1	17	10	2	35	90
修 正 可 決									
否 決									
同 意	1	13	3					1	18
承 認									
否認・不承認									
認 定			3						3
採 択		1	1						2
趣 旨 採 択									
継 続 審 査									
不 採 択									
了 承		2	5					1	8
そ の 他	3								3
合 計	5	27	25	1	17	10	2	37	124

14. 請 願（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

件 名	上程年月日 委員会	結 果
離島架橋の早期実現を求める請願	R7.6.5 行政常任	R7.6.23 採 択
鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める請願書	R7.8.27 行政常任	R7.9.24 採 択

15. 委員会別請願件数（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

区分	受理件数	審 査 結 果				
		採 択	不 採 択	趣 旨 採 択	一 部 採 択	廃 案
行政常任委員会	2	2				
合計	2	2				

16. 意 見 書（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

件 名	上程年月日	結 果	
		年 月 日	可 否
離島架橋の早期実現を求める意見書の提出について	R7.6.23	R7.6.23	可 決
離島架橋の早期実現を求める意見書の提出について	R7.6.23	R7.6.23	可 決
鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める意見書の提出について	R7.9.24	R7.9.24	可 決

17. 新 条 例（令和7年5月1日～令和8年4月30日）

件 名	上程年月日	結 果	
		年 月 日	可 否
鳥羽市観光まちづくり基金条例の制定について	R7.11.26	R7.12.15	可 決
鳥羽市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	R7.11.26	R7.12.15	可 決
鳥羽市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	R8.2.25	R8.3.23	可 決
鳥羽市中小企業・小規模企業振興条例の制定について	R8.2.25	R8.3.23	可 決

Ⅳ 視察来訪実績

1. 年度別行政視察来庁者数（令和2年度～令和7年度）

（件数：人）

地区 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
北海道			2 - 15			1 - 5
東北				1 - 6	1 - 12	
関東				2 - 17	1 - 16	2 - 17
北陸				1 - 7	1 - 10	1 - 7
東海	2 - 22	2 - 18	1 - 7	2 - 21	2 - 21	2 - 15
近畿			3 - 22	2 - 15		1 - 6
中国					1 - 11	4 - 40
四国					1 - 14	
九州			5 - 38	2 - 14	2 - 16	
合計	2 - 22	2 - 18	11 - 82	10 - 80	9 - 100	11 - 90

2. 月別行政視察来庁者数（令和7年度）

（件数：人）

地 区	北海道	関東	東海	中国	九州	合計
月	東北	北陸	近畿	四国		
4						
5						
6						
7		1 - 5		1 - 6		2 - 11
8		1 - 12		1 - 10		2 - 22
9						
10	1 - 5	1 - 7	1 - 10	1 - 11		4 - 33
11			1 - 5			1 - 5
12						
1			1 - 6	1 - 13		2 - 19
2						
3						
計	1 - 5	3 - 24	3 - 21	4 - 40		11 - 90

3. 行政視察内容（令和7年度）

NO	視察内容	対応課
1	議会改革の取り組みについて	議会事務局
2	議会図書室について ICTの活用について	議会事務局
3	医療MaaSについて 漁業振興について	健康福祉課 農林水産課
4	議会改革の取り組みについて	議会事務局
5	地域包括支援について	健康福祉課
6	議会改革に関する取組について	議会事務局
7	TOBAミライトークについて	議会事務局
8	鳥羽市における医療MaaSの取組状況、運営体制及び課題について	健康福祉課
9	通年議会について	議会事務局
10	議会改革の取組について（TOBAミライトーク・サポーター制度）	議会事務局
11	九鬼氏ゆかりの歴史資源を活かした教育と観光の取組について	生涯学習課

V 議会改革の変遷

【ケーブルテレビによる録画放送（本会議）】

平成20年9月から本会議の模様をケーブルテレビにて録画放送を開始。
本会議開催の2日後、13：10～、19：10～の2回放送。
表決の放送終了翌日より毎日再放送。

【議会報告会並びに意見交換会】

平成21年10月第1回議会報告会並びに意見交換会を実施。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開催箇所数	18	36	38	29	27
市民参加人数	460	852	631	561	446

平成28年度からTOBAミラートークとして手法を変更して実施。

【ソーシャルメディアの利用】

X（旧Twitter） 平成22年2月～
USTREAM 平成22年9月～平成30年9月
YouTube 平成24年3月～
Facebook 平成27年4月～
LINE 令和2年8月～（令和7年3月に鳥羽市公式LINEへ移行）

【鳥羽市議会基本条例】

平成23年4月鳥羽市議会基本条例を施行。（平成22年12月制定）

【正副議長の立候補制による選挙の実施】

平成23年5月から全員協議会において立候補表明を行う。（インターネットでも配信）

【会派制の廃止】

平成23年5月から会派制を廃止。

【タブレット端末の活用】

平成23年に議会フロアを全て無線LAN化し、議会費でノートパソコン3台、iPad2台を導入。平成24年春以降は、全議員が個人で所持。

【パネル使用】

平成24年3月に鳥羽市議会パネル取り扱い要領を新制定し、本会議場内に新たに46インチモニターを2台導入し、iPadやパソコンで資料を表示できるようになった。
平成30年9月から使用画像については、執行部に対して事前配布することに決定。
議長への提出締め切りを前日中から前日正午までに変更した。

【タブレット端末の自席への持ち込み】

申し合わせ事項で「本会議、委員会、その他全ての会議におけるパソコン、タブレット端末等の持ち込みについては、審議に関係のある事項に限り使用することができる」と規定。平成24年9月から許可なく全ての会議での使用が可能とした。

【図書館との連携（三重県立、鳥羽市立、市議会図書室）】

平成25年8月から連携。

【会議への飲料持ち込み】

平成26年1月から本会議を除く会議は各自で飲物の持ち込みを可能とした。（本会議については飲食不可）

V 議会改革の変遷

【鳥羽市議会の運営に関する基準】

平成26年5月に鳥羽市議会の運営に関する基準を制定。

【通年会期制】

平成26年5月から地方自治法第102条の2に規定された通年会期制の採用。

【一般質問の制限緩和】

平成26年9月から副議長は一般質問を自粛するとしていた制限を緩和。

【政務活動費】

平成26年10月に政務活動費の使途について、透明性を確保するため、政務活動費の手引きを作成。平成27年度交付分より領収書のホームページ公開も行っている。

【災害時行動計画】

平成26年12月に災害時の市議会及び議員の行動を明確化するため、鳥羽市議会災害時行動計画を策定。

【傍聴人受付簿の廃止】

平成27年1月に鳥羽市議会傍聴人規則を改正し、傍聴人受付簿を廃止したほか、児童及び乳幼児の傍聴が議長の許可なく可能など、市民が傍聴し易い環境を整備した。

【議案書の郵送廃止】

平成27年2月から各議員への議案書の郵送を廃止。

【実費弁償（証人等）額の引き上げ】

鳥羽市証人等の実費弁償に関する条例を改正し、平成27年4月から学識経験者を参考人招致する場合の費用弁償額を6,100円から12,000円に引き上げた。

【市議会だより（わたしの議会。）】

創刊：昭和53年4月

発行：年5回（2月、5月、6月、8月、11月）

平成27年5月1日号から議会だよりを広報とばと合冊化（折込方式）とする。

平成28年2月より名称を「わたしの議会。」とした。

【表決】

平成27年9月以降、挙手採決から起立採決へ変更。

【政治倫理基準違反による執行部職員の審査請求】

平成27年12月に議員が政治倫理基準に違反する疑いがあると認められるときは、執行部職員も審査請求ができることにするよう、「鳥羽市議会議員政治倫理条例」を一部改正。

【広報広聴委員会】

平成28年5月に会議規則改正し、広報広聴委員会を新たに設置。

【TOBAミライトークの実施】

平成28年9月試行、平成28年11月から再始動。

議会報告会並びに意見交換会をTOBAミライトークとして新たな形で実施。

「令和7年度」

・実績なし

V 議会改革の変遷

【副議長・副委員長の任期変更】

平成29年5月から副議長及び副委員長の任期を1年から2年とすることに決定。

【議会運営委員会委員】

平成29年5月から議会運営委員会委員に議会改革推進特別委員会委員長及び広報広聴委員会委員長が就任することに決定。

【予算決算常任委員会終了後の振り返り及び提言書の提出（決算審査事項）】

平成29年9月から当初予算審査、決算審査については、日毎に議員間での振り返りを行うことに決定。

平成29年度決算審査より試行することに決定し、市長に提言書として提出。

【常任委員会の月1回の開催】

平成30年7月から総務民生常任委員会及び文教産業常任委員会は各委員長の判断により、情報共有の場として月1回開催することに決定。

【行政視察報告】

令和2年度より本会議にて、総務民生常任委員会及び文教産業常任委員会の行政視察報告を実施。

【一括表決の導入】

令和2年12月より議案の一括表決を行うことに決定。

【行政常任委員会の設置】

令和3年度より総務民生常任委員会並びに文教産業常任委員会を一本化し、行政常任委員会を新たに設置することに決定。

【鳥羽市議会基本条例の見直し】

鳥羽市議会基本条例が平成23年の制定から一定期間が経過したことから、本条例の示す市議会のあり方について見直しを行い、今、目指す議会の姿を前文にうたい上げる改正のほか、所要の改正を行った。（令和4年3月）

【オンライン委員会の開催を可能に】

大規模な災害の発生、感染症のまん延等のやむを得ない理由がある場合、オンラインによる委員会の開催及び委員会への参加ができるようにする条例整備を行った。（令和4年3月）

【誓約書の提出】

議員の政治倫理の意識向上のため、本条例に規定する政治倫理基準を遵守する宣誓書の提出を定める条例整備を行った。（令和4年3月）

【執行部の本会議場へのタブレット端末等の持ち込みを可能に】

執行部の本会議場へのパソコン、タブレット端末等の持ち込みを可能とする鳥羽市議会の運営に関する基準の一部改正を行った。（令和4年3月）

【政務活動費の手引き】

備品等の購入や交通費に係る取り扱いを明確にし、「政務活動費の手引き」の一部改正を行った。（令和4年3月）

V 議会改革の変遷

【鳥羽市議会議員定数の削減】

見直しの検討にあたり、LINEアンケートの実施と、「市議会議員の定数に関するTOBAミライトーク」を開催し、市民の意見を聴取。アンケートとミライトークで出された市民意見を踏まえ、議員間での協議を重ねた結果、議員定数を14人から13人へと1名減とする「鳥羽市議会議員定数条例」の改正を行った。（令和4年6月）

【鳥羽市議会個人情報保護条例の策定】

個人情報の保護に関する規律が改正個人情報保護法に一元化されることから、議会において新たに「鳥羽市議会個人情報保護条例」及び「鳥羽市議会個人情報保護条例施行規程」を策定。（令和5年3月）

【鳥羽市議会サポーター設置要綱等の策定】

議会の運営等に関し、市民からの要望、提言その他の意見を広く聴取し、市議会の運営等に反映させ、もって市議会の円滑かつ民主的な運営を推進することを目的に「鳥羽市議会サポーター設置要綱」及び「鳥羽市議会サポーター募集要綱」を策定。令和7年度より運用を開始することを決定した。（令和6年9月）

【鳥羽市議会サポーター制度の開始】

昨年度策定した「鳥羽市議会サポーター設置要綱」に基づき、鳥羽市議会サポーター制度を開始。（令和8年4月～）

VI 報酬・旅費等

1. 議員・特別職報酬（H24. 4. 1改定）

単位：円

区 分	月 額
議 長	443,000
副 議 長	375,000
議 員	335,000
監査委員手当	40,000

区 分	月 額
市 長	890,000
副 市 長	688,000
教 育 長	615,000

2. 期末手当（H23. 4. 1改定）

$$\begin{aligned}
 &\cdot 6 \text{ 月支給率 } \frac{120}{100} \times \frac{155}{100} \\
 &\cdot 12 \text{ 月支給率 } \frac{120}{100} \times \frac{170}{100} \\
 &\text{※役職加算 } \frac{120}{100}
 \end{aligned}$$

3. 議員報酬の推移

単位：千円

区 分	昭和59年 12月	昭和61年 10月	昭和63年 11月	平成2年 4月	平成4年 4月	平成6年 4月	平成9年 1月	平成15年 4月	平成24年 4月
議 長	290	325	360	390	430	450	460	445	443
副議長	260	280	310	340	370	385	392	377	375
議 員	230	250	275	300	330	345	352	337	335

4. 旅 費（R8. 4. 1改定）

宿泊費（上限付実費支給方式）

区 分	宿泊費基準額 (1夜につき)
福島県、鳥取県、山口県	11,000円
岩手県、石川県、静岡県、三重県、島根県	13,000円
宮城県、山形県、栃木県、群馬県、福井県、岡山県、徳島県、愛媛県	14,000円
青森県、秋田県、茨城県、富山県、長野県、愛知県、滋賀県、奈良県、和歌山県、高知県、佐賀県、長崎県、大分県、沖縄県	15,000円
山梨県、兵庫県、宮崎県、鹿児島県	17,000円
北海道、岐阜県、大阪府、広島県	18,000円
熊本県	20,000円
香川県	21,000円
神奈川県、新潟県	22,000円
千葉県	24,000円
福岡県	25,000円
埼玉県、東京都、京都府	27,000円

VI 報酬・旅費等

宿泊手当

区 分	手当額（1夜につき）	
素泊まりの場合	2,400円	定額
1食付（夕食又は朝食）	1,600円	定額×2/3
2食付（夕食及び朝食）	800円	定額×1/3

5. 費用弁償（H18.4.1改定）

実費旅費（1km当たり25円）

6. 行政視察旅費

行政常任委員会
議会運営委員会

各委員会 1人当たり 52,000円

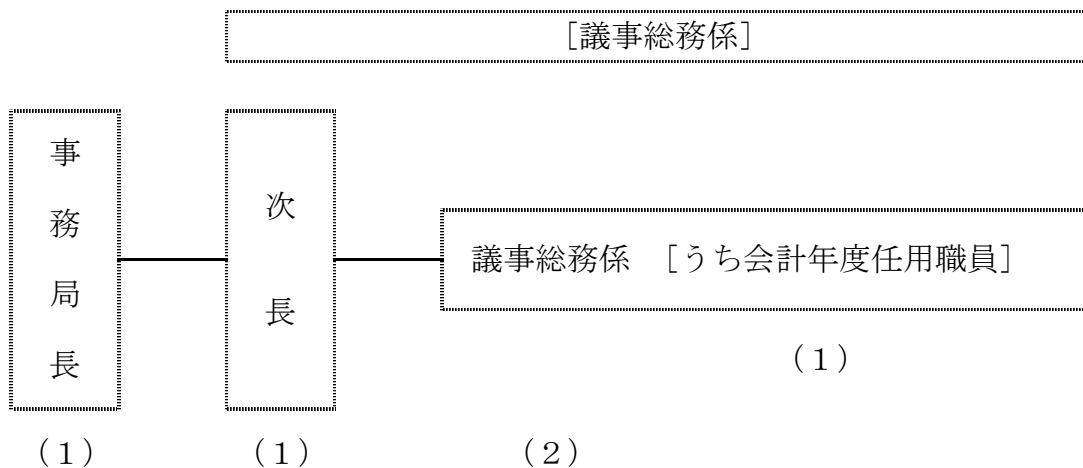
7. 政務活動費（H24.4.1改定）

各議員 1人当たり 156,000円（年額）

Ⅶ 議会事務局

1. 議会事務局の機構と職員数

(条例定数 6 人、現員数 4 人)

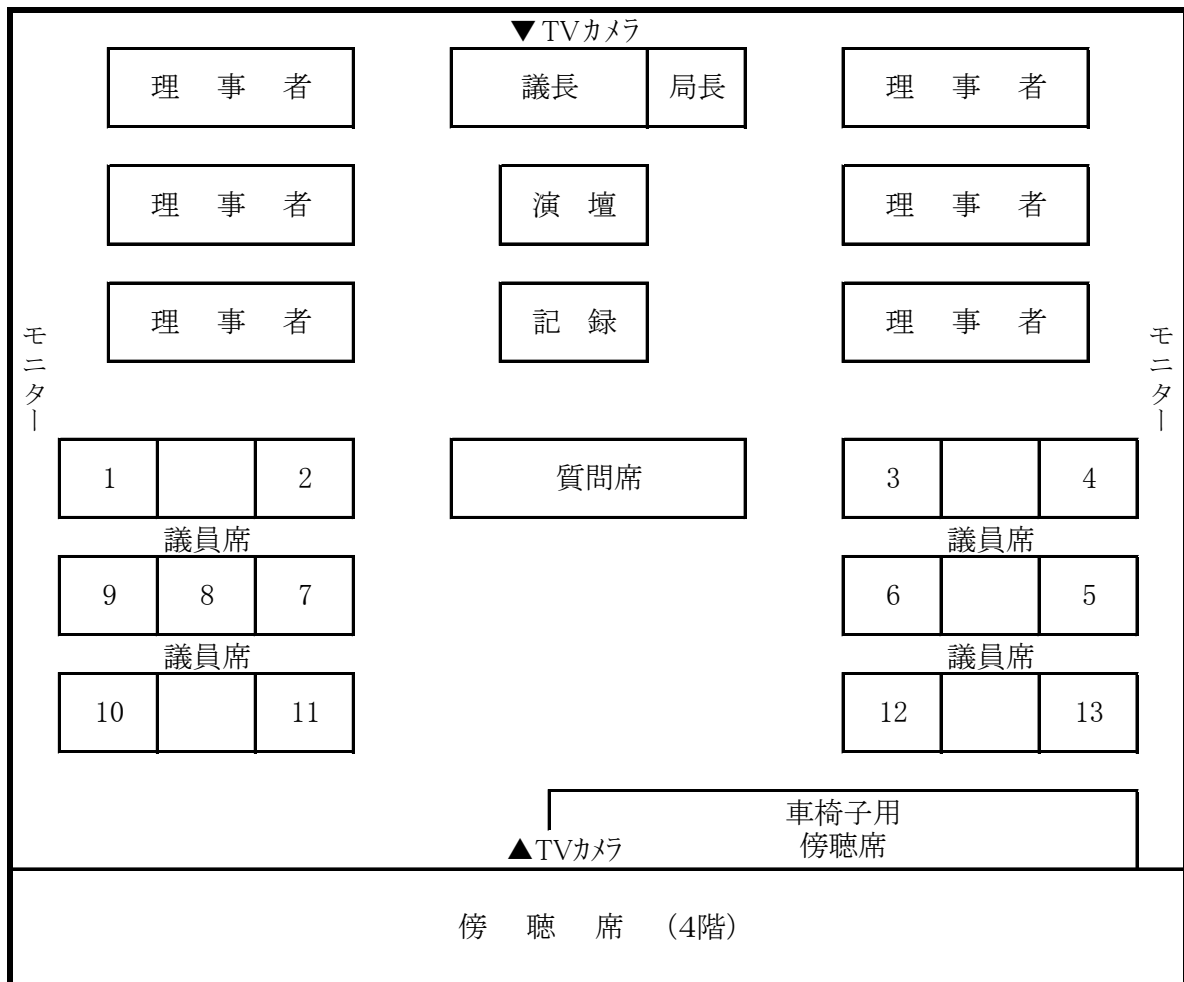


2. 事務分掌

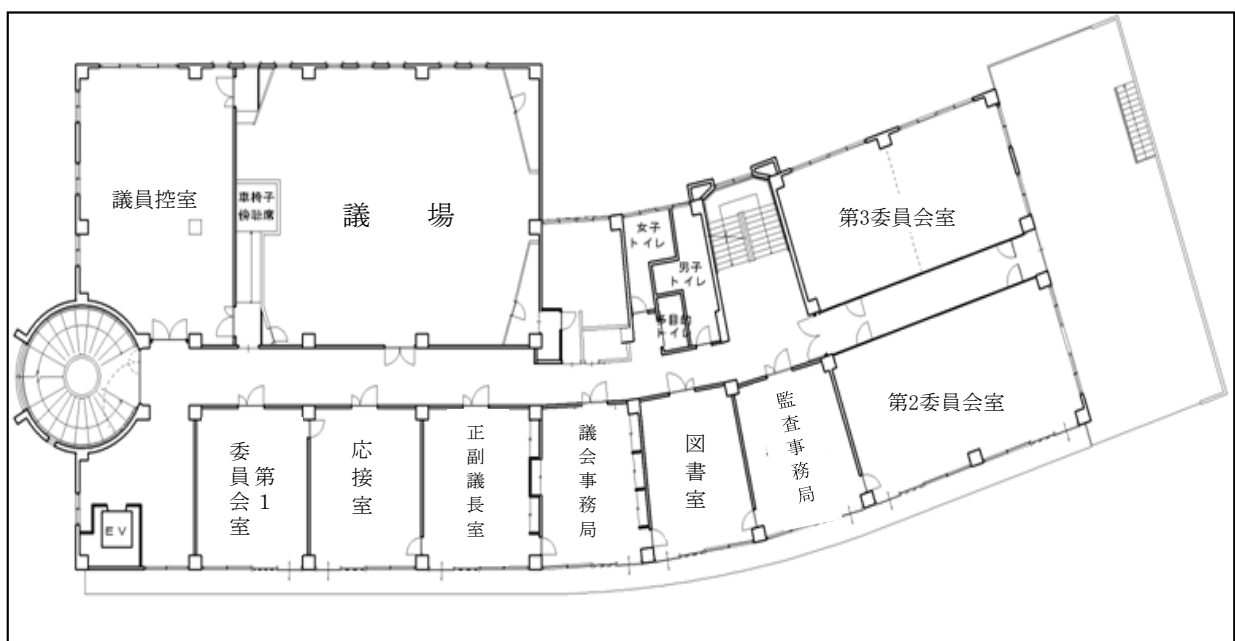
- (1) 議会、委員会及び協議会に関すること。
- (2) 議案、意見書並びに請願及び陳情等に関すること。
- (3) 発言通告に関すること。
- (4) 議決事項の処理に関すること。
- (5) 会議録の調整に関すること。
- (6) 議員の出欠席に関すること。
- (7) 議場の取締りに関すること。
- (8) 各種の調査並びに資料収集に関すること。
- (9) 条例、規則等の制定、改廃等に関すること。
- (10) 議会図書室に関すること。
- (11) 議会報に関すること。
- (12) 職員の人事、服務並びに諸給与に関すること。
- (13) 公印の管理に関すること。
- (14) 文書の收受、発送、整理及び保管に関すること。
- (15) 渉外及び交際に関すること。
- (16) 議会の予算、決算及び経理に関すること。
- (17) 議員の報酬、費用弁償及び諸給与に関すること。
- (18) 物品の管理に関すること。
- (19) 議長会に関すること。
- (20) 議員共済会に関すること。
- (21) 事務局の庶務に関すること。
- (22) その他議会事務に関すること。

VIII 本会議場フロア

1. 議場内配置図



2. 議会関係室配置図



IX 歴代正副議長

NO. 1

代	議長	副議長	就任年月日	退任年月日
初	河村利平治	押田 薫	S29. 11. 1	S30. 4. 30
2～4	古賀 弁 吾	小崎 市太郎	S30. 5. 2	S33. 5. 1
5	山本 音 松	谷本 莊 司	S33. 5. 2	S34. 4. 30
6	村田 吉 助	江崎 権 三	S34. 5. 8	S35. 5. 15
7	谷本 莊 司	山下 由 松	S35. 5. 16	S36. 5. 15
8	小崎 市太郎	寺本 吉 蔵	S36. 5. 16	S37. 5. 20
9	谷本 莊 司	加藤 正 二	S37. 5. 21	S38. 4. 30
10	小崎 市太郎	藤原 兵 吉	S38. 5. 8	S39. 5. 5
11～12	谷本 莊 司	竹内 元 助	S39. 5. 6	S41. 5. 5
13	山下 由 松	竹内 清 磨	S41. 5. 6	S42. 4. 30
14	小崎 市太郎	竹内 清 磨	S42. 5. 10	S43. 5. 10
15～16	竹内 清 磨	木田 才 吉	S43. 5. 11	S45. 5. 10
17	竹内 清 磨	浜田 実	S45. 5. 11	S46. 4. 30
18	浜田 実	杉田 留 雄	S46. 5. 7	S47. 5. 9
19	竹内 清 磨	辻本 徳 男	S47. 5. 10	S48. 5. 10
20	竹内 清 磨	中山 忠 美	S48. 5. 11	S49. 5. 9
21	浜田 実	清水 桃太郎	S49. 5. 10	S50. 4. 30
22	前田 忠 次	城山 新 一	S50. 5. 9	S51. 5. 9
23	辻本 徳 男	山下 金 市	S51. 5. 10	S52. 5. 9
24	古賀 武 司	有竹 楠 茂	S52. 5. 10	S53. 5. 8
25	清水 桃太郎	勢力 吉 美	S53. 5. 8	S54. 4. 30
26	山下 金 市	中村 楠 次	S54. 5. 8	S55. 5. 9
27	有竹 楠 茂	山本 佐 市	S55. 5. 10	S56. 5. 8
28	中村 楠 次	木下 忠 六	S56. 5. 9	S57. 5. 7
29	山本 佐 市	浜口 和 平	S57. 5. 8	議長 S58. 4. 30 副議長 S58. 3. 31
30	城山 新 一	松井 鶴 生	S58. 5. 9	S59. 5. 8
31	辻本 徳 男	山本 清 美	S59. 5. 9	S60. 5. 8
32	勢力 吉 美	斉藤 和 巳	S60. 5. 9	S61. 5. 12
33	小久保 又四郎	西井 豊 一	S61. 5. 12	S62. 4. 30
34	中村 楠 次	木田 楠次郎	S62. 5. 14	S63. 5. 8
35	山本 清 美	片岡 納	S63. 5. 9	H元. 5. 8
36	木田 楠次郎	家田 満 雄	H元. 5. 9	H 2. 5. 8
37	小久保 又四郎	吉川 昭 一	H 2. 5. 9	H 3. 4. 30
38	片岡 納	木田 勇 三	H 3. 5. 15	H 4. 5. 14
39	家田 満 雄	寺本 春 夫	H 4. 5. 15	H 5. 5. 13
40	中村 楠 次	高橋 信 夫	H 5. 5. 14	H 6. 5. 8
41	吉川 昭 一	山下 喜 郎	H 6. 5. 9	H 7. 4. 30

代	議長	代	副議長	就任年月日	退任年月日
42	森 下 幸 穂	42	小久保 昌 一	H 7. 5. 15	H 8. 5. 7
43	山 下 喜 郎	43	増 田 幸 男	H 8. 5. 8	H 9. 5. 8
44	佐々木 高 生	44	山 本 楠 輝	H 9. 5. 8	H10. 5. 12
45	片 岡 納	45	浜 口 清 意 直 木 伝 史	H10. 5. 12 直木副議長H10. 6. 22	浜口副議長H10. 5. 28 H11. 4. 30
46	高 橋 信 夫	46	中 村 和 徳	H11. 5. 18	H12. 5. 11
47	寺 本 春 夫	47	寺 下 進	H12. 5. 11	H13. 5. 15
48	寺 下 進	48	直 木 伝 吏	H13. 5. 15	H14. 5. 15
49	吉 川 昭 一	49	山 下 伴 郎	H14. 5. 15	H15. 4. 30
50	中 村 和 徳	50	藤 原 喜代造	H15. 5. 16	H16. 5. 18
51	山 下 伴 郎	51	村 山 俊 幸	H16. 5. 18	議長 H17. 5. 18 副議長H17. 4. 1
52	木 村 幸 夫	52	野 村 保 夫	H17. 5. 18	H18. 5. 18
53	世 古 安 秀	53	木 下 行 保	H18. 5. 18	H19. 1. 29
〃	木 下 行 保	〃	橋 本 真一郎	H19. 1. 29	H19. 4. 30
54	野 村 保 夫	54	橋 本 真一郎	H19. 5. 18	H20. 5. 14
55	竹 内 久	55	中 村 欣一郎	H20. 5. 14	H21. 5. 19
56	中 村 欣一郎	56	山 本 泰 秋	H21. 5. 19	H22. 5. 13
57	坂 倉 紀 男	57	木 下 爲 一	H22. 5. 13	H23. 4. 30
58	橋 本 真 一 郎 坂 倉 紀 男	58	浜 口 一 利	H23. 5. 13 坂倉議長H23. 6. 27	橋本議長H23. 6. 27 浜口副議長H24. 5. 15
		59	松 井 一 弥	H24. 5. 15	H25. 5. 14
59	野 村 保 夫	60	坂 倉 広 子	H25. 5. 14	H26. 5. 15
		61	木 下 爲 一	H26. 5. 15	H27. 4. 30
60	浜 口 一 利	62	井 村 行 夫	H27. 5. 15	H28. 5. 15
		63	井 村 行 夫	H28. 5. 16	H29. 5. 15
61	浜 口 一 利	64	木 下 順 一	H29. 5. 15	H31. 4. 30
62	木 下 順 一	65	山 本 哲 也	R 1. 5. 15	R 3. 5. 17
63	木 下 順 一	66	河 村 孝	R 3. 5. 17	R 5. 4. 30
64	河 村 孝	67	濱 口 正 久	R 5. 5. 15	R 7. 5. 15
65	河 村 孝	68	南 川 則 之	R 7. 5. 15	現 在

X 鳥羽市の沿革 (略年表)

NO. 1

年月日	記 事
昭和29年 11月 1日	市制施行・市章決定
11月 1日	第1回市議会開会
12月11日	中村幸吉氏初代市長に当選
昭和30年 4月 8日	市議会議員選挙 (各地区選出の小選挙区制)
昭和31年 10月 1日	市長任命による初の教育委員会委員の選任
昭和32年 9月 1日	本浦、今浦、石鏡小学校を統合し、鏡浦小学校を創立
9月10日	鏡浦小学校開校
昭和33年 1月28日	市議会議員選挙1市1区の大選挙区制に決まる
4月 1日	監査委員設置
昭和34年 4月 1日	選挙管理委員会事務局を設置
9月26日	伊勢湾台風襲来、死者1名、全壊174戸
昭和35年 5月20日	中之郷海岸道路完成
昭和36年 1月20日	加茂干拓潮止め式
10月17日	新市庁舎建設決定
11月17日	イギリスのアレキサンドラ女王来鳥
昭和37年 3月15日	「交通安全都市」宣言
5月20日	天皇、皇后両陛下来鳥
10月19日	新市庁舎完成
昭和38年 1月 5日	安楽島橋竣工
2月 9日	商工会議所設立
11月 1日	市消防本部開設
昭和39年 4月18日	水産研究所開設
3月25日	「衛生都市」宣言
10月20日	伊勢志摩スカイライン開通
11月 1日	市制施行10周年
昭和40年 7月18日	市民プール・市民道場完成
昭和41年 3月24日	米国カリフォルニア州サンタバーバラ市と国際姉妹都市提携
6月10日	中村市長を使節団長としてサンタバーバラ市を訪問
10月 4日	サンタバーバラ市長、マックギルブレイ夫妻一行来鳥
12月 4日	市長選挙、谷本荘司氏当選
12月21日	坂手島上水道海底送水管完成
昭和42年 4月22日	ワシントンより桜の女王H・デイビスさん来鳥
9月 1日	池上町・鳥羽五丁目・幸丘・若杉町の四町が誕生
10月11日	サンタバーバラ市スタンレーバートレット収入役一行来鳥
11月 1日	故御木本幸吉翁初代名誉市民に推挙
昭和43年 2月24日	故中村幸吉氏名誉市民に推挙
6月11日	一般公募により塩田良平氏を団長としてサンタバーバラ市訪問
10月 7日	故小田嶋修三氏名誉市民に推挙
10月 8日	サンタバーバラ市リチャードブーゼリー氏一行来鳥
11月 1日	市民憲章制定
12月 5日	菅島簡易水道海底送水管完成
昭和44年 10月18日	サンタバーバラ友好親善使節団、収入役一行来鳥
11月 1日	市の象徴制定〈木〉やまとたちばな〈花〉はまなでしこ〈鳥〉かもめ
12月27日	城山児童公園完成
昭和45年 3月 1日	近畿日本鉄道鳥羽線開通
12月 1日	市営佐田浜駐車場完成

年月日		記 事
昭和46年	4月13日	今浦地区上水道完成
	5月31日	谷本市長を使節団長としてサンタバーバラ市訪問
	9月 7日	天皇、皇后両陛下来鳥
	10月 4日	消防本部新庁舎完成
	12月25日	近鉄鳥羽駅前に観光案内所開設
昭和47年	1月 1日	75歳以上老人医療費無料化実施
	11月 1日	鳥羽市民文化会館完成
	11月22日	答志島簡易水道海底送水管完成
昭和48年	3月18日	近鉄鳥羽駅前～中之郷間バイパス工事完成
	3月31日	パールロード鳥羽～磯部間完成（18.2km）
	4月14日	鳥羽市民体育館完成
	4月25日	学校給食センターが相差町に完成
	7月 1日	0歳児医療費無料化実施
	8月 1日	全国高等学校総合体育大会相撲競技開催
	8月 1日	皇太子ご夫妻来鳥
	10月 1日	65歳以上ねたきり老人医療費無料化実施
	3月 5日	市営定期船中之郷事務所完成
	3月31日	雇用促進住宅安楽島宿舎完成
昭和49年	8月 3日	中央公園相撲場完成
	10月17日	中央公園野球場完成
	11月 1日	市制施行20周年
	11月20日	安楽島大橋完成
昭和50年	3月23日	第27回全日本フェンシング選手権大会開催
	3月31日	市営定期船 石鏡航路を廃止
	5月11日	英国エリザベス女王来鳥
	5月27日	第30回国民体育大会（相撲競技・フェンシング競技主会場）開催
昭和51年	2月16日	市営定期船に初のFRP（強化プラスチック）船就航
	6月 1日	高丘町誕生
	11月10日	答志・桃取局電話自動化
	11月13日	スリランカ共和国首相来鳥
昭和52年	6月19日	休日診療所開設
	9月30日	市営テニスコート完成
	11月15日	国際観光文化都市に指定（建設省）
昭和53年	3月20日	松尾ゴミ処理場破砕機完成
	5月31日	神島開発総合センター完成
	7月20日	野球場ナイター施設完成
昭和54年	4月 1日	鳥羽・桃取・菅島中学校を統合し、鳥羽東中学校を創立
	8月11日	神島簡易水道海底送水管完成
	10月23日	鳥羽市武道館完成
昭和55年	1月23日	学校給食中央共同調理場完成
昭和56年	4月 1日	清掃センター焼却処理施設操業開始
	6月 1日	大明東町、大明西町が誕生
	6月29日	市民の森完成
昭和57年	12月 1日	救急医療情報システムを開始
昭和58年	3月 1日	若竹団地完成
	8月 2日	全国高等学校総合体育大会相撲競技開催

年月日		記 事
昭和59年	11月 1日	市制施行30周年
昭和60年	4月21日	市長選挙、濱口光彦氏当選
	10月26日	全国レクリエーション大会開催
昭和61年	6月20日	「非核平和都市」宣言
	8月31日	上水道管理センター完成
昭和62年	3月10日	堅神火葬場完成
	7月 1日	中央公園水泳プール完成
	8月19日	全国中学校相撲選手権大会開催
昭和63年	4月28日	鳥羽小浜開発プロジェクト研究会設置
	7月14日	集中豪雨で市民4人が犠牲
	11月1日	ことぶき人材センター設立
平成元年	1月27日	加茂川大改修工事5ヵ年計画で着工
	4月 9日	市長選挙、水谷皓一氏当選
	7月17日	鳥羽市立図書館オープン
	7月21日	サンタバーバラ友好使節団シーラロッジ市長一行来鳥
	9月11日	伊勢湾口道路気象観測調査開始（神島）
平成 2年	3月19日	ふるさと創生事業「マリン文学フェスティバル」に決定
	3月27日	住民情報オンライン・システムスタート
	3月27日	坂手出張所完成
	6月25日	水谷市長を使節団長としてサンタバーバラ市訪問
	9月 8日	駐日中国大使、楊振亜夫妻来鳥
平成 3年	9月15日	ギリシャ国アテネ市長、ニコラス・ヤトラコス氏夫妻来鳥
	2月 8日	菅島漁村センター完成
	3月28日	佐田浜第二駐車場立体化完成
	6月20日	加茂中学校新校舎完成
	10月25日	サンタバーバラ市での姉妹都市提携25周年式典に参列
平成 4年	3月20日	答志保育所新園舎完成
	5月20日	市国際交流推進協議会設立
	6月 7日	特別養護老人ホーム「鳥羽陽光苑」完成ディサービス等開始
平成 5年	3月24日	「潤いと活力のあるまちづくり」で自治大臣表彰
	3月28日	加茂出張所・岩倉老人憩いの家完成
	6月18日	「人権尊重都市」宣言
	7月11日	養殖真珠発明100周年で鳥羽駅に御木本幸吉像完成
	7月30日	市内中学生代表6人がサンタバーバラ市訪問（12日間）
平成 6年	11月15日	松尾工場アパート第1期完成
	4月 1日	答志島清掃センター稼動
	5月14日	答志町出張所・老人憩いの家完成
	7月15日	加茂川大改修工事完成
	7月23日	サンタバーバラ市から国際交流員来鳥
平成 7年	3月16日	小浜小学校新校舎完成
	4月11日	今浦老人憩いの家完成
	6月23日	国際交流訪問親善使節団がサンタバーバラ市訪問
	7月12日	菅島コミュニティアリーナ完成
平成 8年	1月30日	鳥羽ぶらじる丸閉館
	3月13日	サンタバーバラ市姉妹都市協会顧問来鳥（4日間）
	3月15日	国崎小学校新校舎完成

年月日	記 事
平成8年	4月 1日 伊勢湾口道路地震観測調査開始（答志島）
	7月14日 安楽島海岸で古代恐竜化石発見される
	8月21日 全国中学校相撲選手権大会開催
平成 9年	3月31日 相差浄化センター供用開始
	4月21日 市長選挙、井村均氏当選
	9月29日 鳥羽恐竜展開催（12月14日まで）
	10月 1日 防災無線併用開始
平成10年	3月20日 鳥羽市ホームページ開設
	10月 1日 鳥羽市を美しくする条例施行
平成11年	1月18日 日和山遊歩道完成
	1月29日 市営住宅「リバーサイド幸丘」完成
	3月23日 恐竜化石発掘現場遊歩道完成
	3月23日 菅島町生ゴミ処理施設完成
	5月31日 鏡浦小学校新校舎完成
平成12年	2月29日 鳥羽カキ殻加工センター完成
	4月 1日 保健福祉センター「ひだまり」完成
	10月 1日 みえ・スカイフェスタ2000開催（10月22日まで）
平成13年	4月 1日 情報公開制度施行
	11月27日 天皇、皇后両陛下来鳥
平成14年	4月 1日 ケーブルテレビ開局（本土地域）
平成15年	4月 1日 ケーブルテレビ開局（離島地域）
平成16年	4月25日 市制施行50周年記念事業開会式
平成17年	4月21日 市長選挙、木田久主一氏当選
	5月 2日 カモメの散歩道完成
	6月10日 あおぞら保育所完成
平成18年	3月24日 池上公園完成
	3月31日 市道岩崎錦町線修景工事完成
	9月29日 庁舎耐震補強等改修工事完成
	10月 1日 一般家庭可燃・不燃ごみ有料化
平成19年	3月10日 鳥羽リサイクル活動拠点施設（リサイクルパーク）完成
	3月20日 寝屋子交流の館竣工式
	6月27日 鳥羽志勢クリーンセンター竣工式
	10月 1日 神島海底送水管事故
平成20年	4月14日 市営定期船新船「きらめき」就航式
	4月20日 白木コミュニティセンター竣工式
平成21年	1月15日 鳥羽小学校新校舎完成
	3月14日 堅神公民館竣工式
	3月15日 菅島しまっこ橋完成
	3月19日 答志島コミュニティアリーナ竣工式
	4月28日 市営定期船新船「かがやき」就航式
	7月23日 伊良子清白の家開館
	10月 1日 「かもめバス」運行出発式
平成22年	3月20日 鳥羽城三ノ丸広場完成
	3月25日 梯子付消防ポンプ自動車お披露目式
	4月 1日 2人目以降の保育料無料化実施
	4月 3日 中央公園相撲場土俵開き

年月日		記 事
平成22年	9月 9日	議会のインターネット（ユーストリーム）中継実証実験開始
	10月 1日	伊勢湾フェリー運行存続開始
平成23年	2月25日	桃取コミュニティセンター竣工式
	3月28日	畔蛸コミュニティセンター竣工式
	3月30日	鳥羽マリンターミナルテープカット式
	4月 1日	とぼっ子サポートセンター「ほっぷ！」開設 「鳥羽マリンターミナル」供用開始
	5月 1日	議会のインターネット（ユーストリーム）中継本格実施
	5月 2日	鳥羽警察署（新庁舎）供用開始
	6月 6日	6月真珠議会の開催
	6月27日	議員発議で「津波だ！みんな逃げよう宣言」制定
	7月 1日	兵庫県三田市と友好都市宣言締結
	10月17日	岐阜県美濃市と災害時相互応援協定締結
	11月 5日	鳥羽市一斉津波避難訓練実施（7,515人参加）
	11月13日 ～16日	姉妹都市提携45周年記念 サンタバーバラ市長等19名ご来鳥
	11月24日	駆逐艦春雨殉難100年記念祭
平成24年	3月27日	弘道小学校新校舎完成
	4月30日	佐田浜第4駐車場開設
	7月 4日	長野県大町市と災害時相互応援協定締結
	7月17日	第二伊勢道路2号トンネル貫通式
	8月 9日 ～11月16日	鳥羽城跡（第7次）発掘調査
	11月 6日	長野県飯島町と災害時相互応援協定締結
	11月17日	三重県・鳥羽市合同防災訓練実施（5,686人参加）
	12月14日	加茂小学校新校舎完成
平成25年	1月18日	兵庫県三田市と災害時相互応援協定を締結
	3月21日	鳥羽市障がい者福祉センター「ゆめばーる」完成
	5月 1日	鳥羽大庄屋「かどや」開館
	6月 2日	吉永小百合さん49年振りに神島来鳥
	9月14日	国道167号（第二伊勢道路）開通7.6km 事業費約315億円
	10月14日	東京六本木ヒルズにおいて「御遷宮奉祝海と愛に育まれた 鳥羽の祝祭～鳥羽のあまちゃん100人上京！食と祝の祭典～」 を開催
	11月23日	浦村アサリ研究会が第52回農林水産祭水産部門天皇杯受賞
	12月	佐田浜農水産物直売所建設工事着工
平成26年	1月	鳥羽・志摩の海女による伝統的素潜り漁技術が県の無形民俗 文化財に指定
	4月	鳥羽志勢広域連合やまだエコセンター開設
	4月	鏡浦中学校を鳥羽東中学校へ統合
	5月～12月	鳥羽市制施行60周年として様々な記念事業を実施
	7月	菅島採石場における新たな緑化協定を締結
	10月	島の旅社推進協議会が総務大臣賞を受賞
	10月	ウォーキングサポート事業をスタート
	10月14日	鳥羽市農水産物直売所「鳥羽マルシェ」開設

年月日	記 事
平成26年	11月 幼稚園、小学校の主要教室等にエアコン整備着手
	11月 答志島で「鯛の千匹干し」を実施、翌12月ギネス世界記録に認定
平成27年	1月 安楽島保育所新園舎完成
	2月 漁業と観光の連携促進協議会が発足
	3月 鏡浦診療所石鏡分室が新築移転
	4月 かもめ幼稚園の給食開始
	水道料金値下げ実施
	6月 伊勢志摩サミット開催決定
	神島小中学校建設（用地造成工事）に着手
	7月 “鮑” 千個HOSUを開催
	8月 地域おこし協力隊3名就任
	現役海女アイドル「とばあば」を結成
	9月 台風18号による豪雨災害で市内に甚大な被害発生
	10月 幼稚園・小中学校等の主要教室にエアコン整備完了
	22世紀奈佐の浜プロジェクトによる海岸清掃
10月・11月	みなとオアシスとばFesta2015開催 （第7回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inとば 来場者21,500人）
	11月 鳥羽足湯処「とまり湯」のオープン
	海女サミット2015 in 鳥羽を答志島で開催 （安倍昭恵首相夫人、鈴木三重県知事来鳥）
	夜間津波避難訓練を地区別に実施
	12月 現役海女アイドル「とばあば」がCDデビュー
平成28年	1月 移住・定住元年とし、ワンストップ窓口を開設
	4月 移住・定住係を設置し、移住・定住市区新事業に着手
	3月 消防署南鳥羽出張所完成
	4月 3隻目のバリアフリー船「しおさい」就航
	5月 伊勢志摩サミット開催&配偶者プログラムin御木本真珠島
	7月 環境省が伊勢志摩を含む8ヵ所を「ナショナルパーク」として選定
	10月 アメリカ合衆国サンタバーバラ市姉妹都提携50周年記念&訪問団派遣
	10月 鳥羽マルシェが農林水産省選定のディスカバー農山漁村（むら）の宝に選定
	11月 答志・桃取漁港関連道が開通
	11月 伊勢志摩国立公園指定70周年記念式典と全国エコツーリズム大会を開催
平成29年	3月 伊勢二見鳥羽ライン全線無料化
	3月 神島小中学校新校舎完成
	4月 全国菓子大博覧会開催
	10月 全国初海女条例制定「鳥羽市海女のまち条例」
	10月 消防庁舎用地造成工事着工
	10月 台風21号22号が襲来
	10月 海の博物館の市立化

年月日	記 事
平成29年	11月 竹あかりと月あかりnightイベント開催
	11月 鳥羽市防災訓練「南海トラフ地震避難訓練等」実施
	12月 三重県地震津波防災シンポジウム開催
平成30年	3月 子どもゲーター祭り開催
	3月 市立海の博物館に三重大学伊勢志摩サテライト「海女研究センター」開設
	3月 太陽光発電関係条例制定
3月・10月	市立海の博物館で「恋するマーケットumine」開催 (約2,400人来館)
	4月 寝屋子の島留学 家族留学生受入
	5月 答志舟越製氷施設が新たに完成
5月～	映画「ふるさとがえり」上映会を開催
	6月 都市計画事業基金条例制定
	7月 台風12号
	8月 台風20号
	9月 台風21号24号
	8月 城山公園に♡TOBAモニュメント完成
	10月 豪華客船ダイヤモンドプリセスが初入港
	10月 SAKEselection開催
	10月 答志島トロさわらブランド化
	10月 旧職員住宅を神島保育所へリノベーションする工事を開始
	10月 平成30年度鳥羽市防災訓練実施
平成30年	11月 平成30年度大規模津波防災総合訓練実施
	11月 三重とこわか国体鳥羽市実行委員会発足
	11月 新消防庁舎用地造成工事完成
	12月 鳥羽市民文化会館大ホール閉鎖
6月～12月	とばびと活躍プロジェクトにおける雇用対策 就労体験バスツアー（6・9・11・12月） 福祉と観光の連携による市民就労促進事業「プチ勤務おしごと カタログ作成」（10月） 無料職業紹介所開設（10月） とばびと活躍プロジェクトアクションプランの策定（11月）
令和元年	1月 英語検定チャレンジ事業実施（383 人受験） 鳥羽うみアートプロジェクトを開催 「かいそう画」 おおたはるか 「ここは、海のなか」 佐藤紘子 安楽島アートプロジェクト 「公園遊具 PHOTO FUJIO KITO」
	3月 新水産研究所建設工事着工
	4月 神島保育所リノベーションにより改築移転
	5月 「海女（Ama）に出逢えるまち鳥羽・志摩」が日本遺産に認定 オイローパ2 の初入港（5月）をはじめ、大型クルーズ船13 回来港
	7月 雨の中の「鳥羽みなとまつり」
	8月 ふるさと納税の返礼品に真珠製品復活 神島診療所 小泉圭吾医師 「やぶ医者大賞」受賞 ふるさと納税の返礼品に真珠製品復活
	9月 消防庁舎建設工事着工 市民体育館の改修工事及びサブアリーナ増築工事着工
	10月 パリ日本文化会館において「海女文化トークショー」を開催 第74 回国民体育大会 成年男子エペ 優勝（三重県選手団） 答志島和具浦の塩蔵ワカメがMEL 認証を取得
	11月 第72回全日本フェンシング選手権大会で山田優氏が男子エペ個人 優勝

年月日	記 事
令和2年	3月 フェンシンググランプリ ブタペスト大会で山田優選手が男子エペ優勝 4月 鳥羽市水産研究所が小浜町に完成 5月 40年ぶりに答志町・神島間に海底送水管を布設 8月 三重大学水産実験所が小浜町に移転決定 鳥羽市消防庁舎が安楽島町に完成 9月 ワークーション等推進事業に着手 移動販売車の運用を開始 第73回全日本フェンシング選手権大会で小久保真旺選手が男子サーブル史上最年少17才で優勝 11月 鳥羽市民体育館サブアリーナ完成 令和2年度鳥羽市防災訓練にて「風水害等避難所運営訓練」を実施 TRIMetバーチャル鳥羽離島病院実証プロジェクトスタート
令和3年	3月 鳥羽市消防庁舎移転供用開始 鳥羽市・三重大学・三重県水産研究所・鳥羽商船高等学校・KDDI株式会社・株式会社KDDI総合研究所による「海洋DX6者協定」を締結 4月 三重大学水産実験所が小浜町に移転 新型コロナワクチンの接種を開始 小中学校においてタブレット端末を使った授業を本格実施 5月 三重大学と「鳥羽海洋教育研究センター設置に関する覚書」を締結 7月 山田優選手が東京2020オリンピックで金メダルを獲得 8月 鳥羽ごかな消費拡大事業「とば魚to Eatキャンペーン」を実施 鳥羽市プレミアム付き商品券「やまとたちばな」を販売 9月 新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者に対する食料等の物資支援を実施 10月 国際交流員としてフランス出身のカゾ・ポーリンさんが着任 10～11月 楽天トラベルクーポン（電子）、とば旅おとクーポン（紙媒体）を発行
令和4年	11月 山田優選手に鳥羽市初の「市民栄誉賞」を贈呈 5月 みえ応援ポケモン ミジュマルが鳥羽で活躍 6月 松尾第2期工業団地に企業が進出 10月 菅島灯台が国の重要文化財に指定 オクトバ「鳥羽の日・鳥羽の月」が盛大に開催 TRIMetバーチャル鳥羽離島病院構想の展開 11月 パリセミナーの開催 12月 ゼロカーボンシティ宣言
令和5年	6月 鳥羽旅館事業協同組合との災害時等における宿泊施設等の提供に係る協定書を締結 10月 10月8日を記念日登録 「みんなの鳥羽の日条例」制定 伊勢市・志摩市・鳥羽市が合同でフランスヘトッブセールスを実施 11月 三重県と総合防災訓練を実施 12月 医療MaaSがスタート

海のシリコンバレー
本格展開

年月日	記 事
令和6年	1月 県下一の新入生等応援金制度を開始
	4月 黒ノリ・ワカメ養殖でJF鳥羽磯部漁協がJブルークレジット®を取得
	5月 ラッコの「メイ」を鳥羽市ふるさと応援大使に任 “メイ”
	6月 鳥羽市独自の医療MaaS車両を導入
	8月 山田優選手がパリ五輪フェンシングエペ団体で銀メダルを獲得
令和7年	9月 ミジュマルデザインの新船「はばたき」就航
	3月 県内初「宿泊税」の条例制定
	4月 学校給食を無償化 “新市政がスタート” モチベーション係も始動
	7月 ミジュマル公園が開園
	11月 天皇皇后両陛下が鳥羽市をご訪問